別記様式第１－２号

地下浸透方式に関する申告書

設置者名（　　　　　　　　　　　　　）

　１　放流できない理由

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　処理装置は、隣地境界線から３ｍ以上離れています。

３　浸透部分は、井戸その他の水源から水平距離で３０ｍ以上離れ、かつこれらを汚染するおそれはありません。

４　浸透部分は、地下水位が地表面より１．５ｍ以上深いところにあります。

５　処理装置の構造

（１）浸透面積の計算等

別紙のとおり（地下浸透方式に関する調査票）

（２）構造図及び平面図

別紙図面のとおり

添付１

地下浸透方式に関する調査票（トレンチ方式）

１．処理装置は隣地境界から概ね（　　　ｍ）離れている。

【基準は、３ｍ以上】

２．井戸、その他の水源から水平距離で（　　　ｍ）離れている。

【基準は、３０ｍ以上】

３．地下水位が地表面から１．５ｍ以上深いところに（　ある　・　ない　）

（上記１・２については、図面に明示すること。）

４．浸透面積の計算

調　査　結　果

※　土質が粘性の場合にあっては、１０ｍｍ

　　　　　　　　３０　　　　　３０

浸透速度＝　　　　　　　　　＝　　　＝（　　　）

　※３０㎜降下する　 （　　）

のに要する時間（ａ）

　　　　　　　　２５　　　　　 ２５

浸透時間＝　　　　　　　　　＝　 　＝（　　　）

（ｂ）　　　　浸透速度　　　 （　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 孔 | 30mm降下するのに要する時間 |
| 実　測　値 | １ | 分 |
| ２ |  |
| ３ |  |
| ４ |  |
| ５ |  |
| ６ |  |
| 平均値 | ａ |  |

土壌の浸透時間（ｂ）と表１から次のとおり必要な浸透面積を積算する

浸透面積＝設置する浄化槽の人槽×一人当たりの浸透面積（表１より）

＜表１＞　　　処理対象人員一人当たりの地下浸透面積（合併処理浄化槽）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 土壌の浸透時間（分） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 10 | 15 | 30 | 45 | 60 |
| 一人当たりの  浸透面積（㎡） | 6.0 | 8.0 | 10.0 | 12.0 | 14.0 | 28.0 | 36.0 | 44.0 | 60.0 | 66.0 |

添付１

地下浸透方式に関する調査票（トレンチ方式以外）

１．処理装置は隣地境界から概ね（　　　ｍ）離れている。

【基準は、３ｍ以上】

２．井戸、その他の水源から水平距離で（　　　ｍ）離れている。

【基準は、３０ｍ以上】

３．地下水位が地表面から１．５ｍ以上深いところに（　ある　・　ない　）

（上記１・２については、図面に明示すること。）

４．処理装置の型式・製造者名

|  |  |
| --- | --- |
| 型式 |  |
| 製造者名 |  |

５．当該設置場所において、湛水等による生活環境上の支障が生じない根拠

【記載例】

設置する処理装置は透水係数２．５×１０－４ｃｍ／ｓｅｃ以上の土地に設置でき、設置予定地の透水係数は３．０×１０－４ｃｍ／ｓｅｃであるため。